



横浜国立大学
統合的海洋教育・研究センター

シンポジウム

「知られざる横浜の安心・安全の最前線

—海上交通管制・病害虫侵入防止・浸水水害対策—

《 開 催 趣 旨 》

横浜国立大学統合的海洋教育・研究センター(略称:海センター)では、大学院生を対象に「統合的海洋管理プログラム」を2007年度よりスタートさせ、現在、第5期プログラムを実施中で、すでに40名以上の修了生を世に送り出しています。この「統合的海洋管理プログラム」の講義は、本学の公開講座の一つとして位置付け、毎回多数の外部聴講者も受け入れ、好評を博していますので、是非、ホームページをご参照ください。

シンポジウム・シリーズ「横浜から海洋文化を育む」の第9回目として開催

さて、本学では、海センター設立以前の2006年より、シンポジウム・シリーズ「横浜から海洋文化を育む」を開催してまいりましたが、開催時期とテーマは下記のとおりです(第4回以降は海センター主催)。

- 第1回 (2006.7.5) 「新たな海の世界に向けて」
- 第2回 (2006.11.6) 「東京湾の利用と環境を考える」
- 第3回 (2007.4.13) 「対立と協調の海」
- 第4回 (2007.11.3) 統合的海洋教育・研究センター設立記念シンポジウム
- 第5回 (2008.3.21) 「統合的海洋教育の将来・国際シンポジウム」(於:パンパシフィックホテル横浜)
- 第6回 (2008.12.9) 「東京湾を知る、守る、利用する」(於:横浜市開港記念会館)
- 第7回 (2009.11.14) 「海の不思議を探る」(於:横浜市開港記念会館)
- 第8回 (2010.11.29) 「環太平洋の海洋問題」(於:横浜市開港記念会館)(APEC 横浜開催・よこはま開港塾)

安心・安全を陰で支える頼もしい担い手にスポットライトをあて、今後のリスク対応を考える

今回は、東京湾の海上交通管制センター業務、病害虫侵入防止の検疫業務、浸水防止水害対策地下トンネル管理業務に焦点をあて、知られざる安心・安全を支える担い手、縁の下の力持ちとも言うべき関係の方々に登壇いただき、ハードとソフトの両面から日頃の努力を紹介いただくことにいたしました。また、パネル・ディスカッションでは、「安心・安全を支える技術—想定外にどのように対応するか—」と題し、今後のリスク対応等を論議します。

◎日時 : 2011年11月14日(月) 13:30~17:30 (交流会 17:45~19:30)

◎会場 : 横浜市開港記念会館 (横浜市中区本町1-6、Tel:045-201-0708)

—みなとみらい線(東急東横線乗入)「日本大通り駅」1番出口、徒歩1分。(交差点向い)

◎後援: 神奈川県/横浜市/神奈川新聞/tvk(テレビ神奈川)/FMヨコハマ/NHK横浜放送局/
(予定) 海上保安庁第三管区海上保安本部/横浜港振興協会

◎協力: 海洋政策研究財団/土木学会海洋開発委員会/日本沿岸域学会/日本船舶海洋工学会/
(予定) 日本海洋政策学会/横浜水辺のまちづくり協議会

◎参加費 : 無料 (ただし交流会は、会費制;お一人様3,000円。学生割引 一人1,000円)

◎お申込 : 資料準備等の都合上、11月4日(金)までに、下記の海センターwebsiteからお申し込みください。
なお、当日会場でも受け付けますので、直接お出でいただいたの参加も歓迎いたします。

〈お申し込み・お問い合わせ先〉

横浜国大海センターのホームページ: <http://www.cosie.ynu.ac.jp>

(トップページ左、「シンポジウム」のボタンをクリックしてください。)

横浜国大海センター事務局 e-mail アドレス: kaiyo@ynu.ac.jp、Tel&Fax: 045-339-3067



横浜国立大学
統合的海洋教育・研究センター

シンポジウム

「知られざる横浜の安心・安全の最前線

—海上交通管制・病虫害侵入防止・浸水水害対策—

<2011年11月14日(月)13:30~17:30、於:横浜市開港記念会館>

《 プ ロ グ ラ ム 》

総合司会:横浜国立大学環境情報研究院准教授 及 川 敬 貴

◎開会挨拶(13:30).....横浜国立大学長 鈴木 邦 雄

◎講 演(13:35-15:35)

1. 「東京湾の船舶航行安全を守る:東京湾海上交通センター(東京マーチス)の概要」

(13:35~14:15)..... 大 谷 雅 彦 海上保安庁第三管区海上保安本部東京湾海上交通センター所長

〔約4,600万人を擁する首都圏を背後に抱え、1日約600隻もの船舶が往来する世界有数の海上交通路であり日本経済の大動脈ともいえる東京湾において、24時間365日体制で船舶の安全航行を担っている東京湾海上交通センターについて紹介します。〕

2. 「植物の病虫害の侵入を防ぐ:横浜植物防疫所の活動概要」

(14:15~14:55)..... 安 藤 由 紀 子 農林水産省横浜植物防疫所業務部本船貨物担当統括植物検疫官

〔植物の病虫害が新たな地域に侵入すると、農業生産上、思いもよらぬ大きな被害を与えることがあります。海外からの新たな病虫害の侵入を防ぐために、横浜植物防疫所が港や空港で行っている植物の輸入検疫について紹介します。〕

3. 「横浜を水害、浸水から守る:横浜港へつながる帷子川(かたびらがわ)分水路トンネル」

(14:55~15:35)..... 三 善 泰 雄 神奈川県横浜川崎治水事務所工務部河川第一課副技幹

〔過去、幾度となく水害に見舞われてきた「帷子川」の抜本的な治水対策を目的に建設された、「帷子川分水路」。中流部の旭区を起点に、横浜国大キャンパス下を通過し、横浜港に至る地下トンネル施設について紹介します。〕

=====**休憩**(15:35-15:45)=====

◎パネル・ディスカッション : テーマ 「安心・安全を支える技術—想定外にどのように対応するか—」

(15:45~17:25)

[講師以外のパネリストは10分の話提供]

コンビーナ 中 原 裕 幸 横浜国立大学統合的海洋教育・研究センター特任教員(教授)

パネリスト 池 田 龍 彦 // 大学院国際社会科学部教授/統合的海洋教育・研究センター長

[災害対策に想定外はない。ハードとソフトを組み合わせた、ねばり強い防災の手法を探る。]

// 佐々木 淳 // 大学院都市イノベーション研究院教授

[江戸時代には3mを超える津波が来襲した。横浜における津波・高潮防災の現状と課題を探る。]

// 大谷雅彦 / 安藤由紀子 / 三善泰雄 (前掲)

◎閉会挨拶(17:25~17:30).....横浜国立大学統合的海洋教育・研究センター長 池田 龍彦

◎交流・懇親会(17:45~19:30) 開港記念会館周辺の会場(当日ご案内)。[参加費 3,000円。学生割引 1,000円]